長文滑舌トレーニング　新原稿１

下記の滑舌を長文トレーニングのために読んでみてください。

１並々に盛られた毒々しい煮汁を二重に二重にそろえたソロモンのソラマメの天井と相成りまして一昨日またきやがれと東南アジアのトラストトラップの本線の線引きに会いまた圧力なべにて料理された量産型のソフトフランクをトーマス型のおにぎりヘッドで温めよ

２かつ丼をドーナツ型にして虎の巻を東南アジアにまたがるマダガスカルの透明な翻訳ソフトをソロモンの枝分かれしたナチュラル風納豆と一緒に煮込むだけの煮込み料理を老若男女と諸々を露出したエクササイズをタランティラ風にティラミスをニナニナしてニヤニヤしながら食べなさい。

３バラバラに奈良なら良いかと問う回しにニタニタニャフニャフと笑う若者の相談者に滑舌についてのノンフィクション作家風の鍋つかみをつかんでは投げつかんではなさないと甲羅をもって以て持ち直してモゾモゾ言わせるなんて岩瀬の成り行きなんて業平の生業になどならないと自信をもっていうのである。

４カメラマンとキャメルを見ながらキャラメルコーンを遠回しにおぜん立てするのはあまりよろしくないことと思われるが思わせぶりな態度に如何せん納得がいかないのでいかがなものかと神戸を垂れてラナラナリニリニアモーターカーをちくしょうとノンフィクションにまとめて更なる飛躍やチェンジをチェンバロでの演奏に生かさなければいかさまになるという事の重要性。

５ファミコンもハニコンはニコンのカメラできゃめきゃめ捜索願を出さなければ刑事としてのメロンパンも公私混同もろもろにょろにょろ街道の外道の宗教画か宗教客か布教活動ならぬ奈良の底の果て。